

に掲げました、本や紙芝居はほんの一部です。この他に約一万冊の児童図書を所蔵しています。お気軽にお立ち寄りください。

☆ 児童図書

武田信玄なんでも大全集
ナイチンゲール
南アフリカのアバルトヘイト
目で見るとパイオの世界 全8巻
こちらナースステーション
ぼくはヤドカリはかせ

今月のカレンダー

五月の花「ヤマブキソウ」

(ケシ科)
(Chelidonium Japonicum Thunb)



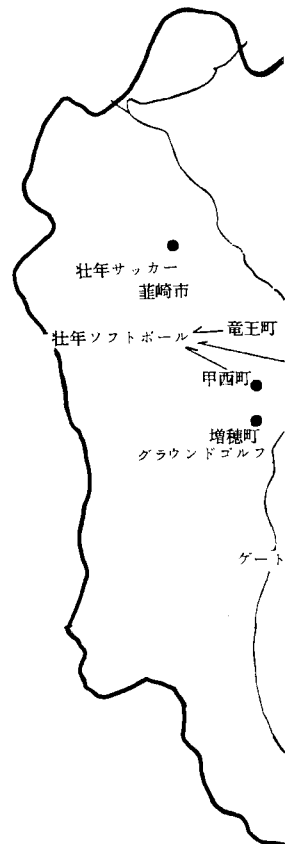
ブレメンのおんがくたい
ちいさなきかんしゃ
そんごうおあばれのまき
ちからたろう
おばけをてんぷらにした兄弟
どこへいくのかな?
ねことごむまり



花の色と形がヤマブキに似ているための名である。しかしヤマブキは花弁が五枚であるのに対し、この花は四枚である。実際遠くから群れて咲くこの花はヤマブキにみえる。宮城県以南の分布であるが、比較的めずらしく、本市でも鹿留の宝鏡寺の群落が保護指定になっているが、他のものもぜひ保護したい。四月のカタクリや、このヤマブキソウ、またイチリンソウやヒトリシズカなどの落葉樹の下に春咲く植物は、林の木の葉がしげる前に陽ざしをうけとり、葉をのびし花を咲かせる。そして夏に木の葉の繁る頃には地上部は枯れて、地中に根や茎をのびして暑さを過す。こうした生活をする植物を春植物とも、また人によっては春の妖精(Spring Ephemerals)と呼ぶ人もある。

第一回全国ス

バウンドテ



都留市文化財を新たに指定

教育委員会では、新たに4件を都留市文化財に指定しました。
・屋台後幕「桜に駒」仲町所有
有形文化財
江戸時代の有名な浮世絵師鳥文斎藤原栄之の下絵によるもので、八朔祭屋台の飾幕

・屋台後幕「鹿島踊」新町所有
有形文化財
江戸時代に製作された八朔祭屋台の飾幕
・熊野神社の大杉(鹿留宮下所在)
天然記念物
市内最大の杉の大木

・勝山城址史跡
文禄三年(一五九三)に浅野氏重によって築城された山城で、秋元氏の在城時には茶壺蔵が造られていた。

禅秀の乱のあった頃から、室町幕府の力はめっきり弱まり、戦乱に明け暮れる時代となって、地方の政治も乱れに乱れます。
甲斐の国は武田氏が守護職を継いでいますが、守護職としての威令は行われず、土豪ばかりか甲斐源氏の同族間の争いが絶えませんでした。

東方に味方して国中に出陣し、信繩と戦いを交えたのでした。信恵は、信昌と中津森夫人との間に生まれた小山田氏の血脈の子だったからです。

平三信有が生きていることは、再び小山田氏が勢力を盛り返し、敵対すること必定です。しかし、小山田氏の郡内勢と戦いを続けることは、国内が不安定な状況下では、武田氏にとって危険であったために、信虎は勝ち戦にもかかわらず、小山田氏との和睦の道を選んだのでした。小山田氏が武田氏の臣下の礼をとるならば郡内領を安堵しよう。その証しとして信虎の妹を嫁入らせるといふものでした。

郡内領主 小山田氏と武田氏との 関係について

一方、小山田氏は甲斐半国とはいえ、信実―信光―信長―平三信有と続く中で、上の小林氏、下の加藤氏らの有力土豪を従えて検断とし、郡内領主としての力を着々とたくわえていきました。
小山田信光の息女が武田信昌の後室として嫁してから、武田氏に強い影響力を持つようになりました。信繩と信恵とが兄弟で武田の総領争いをする、小山田氏は信

再び総領争いが行われました。
小山田弥太郎信長は息子に平三信有と共に、信恵の援軍として国中に侵攻したのですが、信虎に蹴散らされ、信恵、繩美兄弟は討死、

こうして小山田氏は、郡内領主として対面を保ちながら武田氏に臣従し、武田氏の有力な親族衆となっていくのでした。